

気分を和らげる効果を併せもつ
十二種類の生薬を配合



他7種

ダイオウ / オウレン / シャクヤク /
ソウジュツ / ブクリョウ /
ショウブコン / モッコウ

効果・効能

浴用として
神経痛、
ロイマチス、
頭痛、
手足の痛み、
腰の痛み、
シモヤケ、
冷え症、
産前・産後、
月経不順、
ヒステリーに
効あり

健美薬湯

千葉実母散

浴剤

第2類医薬品

「千葉実母散」の由来

千葉実母散の総本家・千葉家の発祥は源頼朝の四天王の一人、千葉之介常胤（ちばのすけつねたね）にさかのぼります。
そして常胤から十三代目の千葉勘兵衛が、母の病のために調合した薬が「実母散」です。
勘兵衛の実母は産前産後の不調に悩み、回復の兆しも見えませんでした。勘兵衛が家宝の観音さまに三七、二十一日の願をかけて祈ったところ、夢枕に立った観音さまが、十七種の薬草を調合した薬を二十一日間服用するようにとお告げになりました。お告げに従い、早速調合して母に服用させると、みるみる病が全快したということがあります。この薬方が千葉実母散の発端です。